



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年10月25日

上場会社名 富士変速機株式会社 上場取引所 名
 コード番号 6295 URL <http://www.fujihensokuki.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）中島 寿和
 問合せ先責任者（役職名）常務取締役（氏名）足立 高則 (TEL) 058 (271) 6521
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年12月期第3四半期の業績（平成25年1月1日～平成25年9月30日）

（1）経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	4,115	△8.4	145	△47.7	164	△44.6	87	△46.4
24年12月期第3四半期	4,492	9.7	278	87.5	295	74.8	162	80.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	5.16	—
24年12月期第3四半期	9.63	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	10,528	9,223	87.6
24年12月期	10,634	9,206	86.6

（参考）自己資本 25年12月期第3四半期 9,223百万円 24年12月期 9,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	3.00	—	3.00	6.00
25年12月期	—	3.00	—	—	—
25年12月期（予想）	—	—	—	3.00	6.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,380	4.6	260	5.3	280	3.3	150	5.6	8.87

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年12月期3Q	17,955,000 株	24年12月期	17,955,000 株
25年12月期3Q	1,038,990 株	24年12月期	1,039,015 株
25年12月期3Q	16,916,006 株	24年12月期3Q	16,916,018 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、現政権の経済政策や金融緩和への期待感から、株価の回復や円安基調等、緩やかに回復しつつあるものの、海外景気の下振れに対する懸念等により、国内景気を下押しするリスクを抱えた状況であり、実体経済は依然として不透明な状況が続きしました。

このような環境のもと、当社におきましては、環境・社会の変化に対応したマーケティング戦略に基づく製品開発と生産活動を行うとともに、営業力の強化に努め、経営資源の有効活用と継続的な原価低減、組織としての見える化改善活動により、新たな価値の創造と競争力の強化に努めてまいりました。

減速機関連事業においては、マーケティング活動に基づくエリア別販売活動の強化と顧客満足度の向上に努めてまいりました。

駐車場装置関連事業においては、メンテナンス部門の技術の向上とサービス活動の強化に努めてまいりました。

室内外装品関連事業においては、生産部門の加工、組立ラインの改善を図り、不適合の削減と品質の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は4,115百万円(前年同期比8.4%減)、営業利益は145百万円(前年同期比47.7%減)、経常利益は164百万円(前年同期比44.6%減)、四半期純利益は87百万円(前年同期比46.4%減)の減収減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

〔減速機関連事業〕

当社の強みを生かした特殊減速機を中心に、他社との差別化をアピールするなど、積極的な販促活動を展開したものの、製造業の設備投資が伸び悩むなど受注環境は依然として厳しく、売上高は2,069百万円(前年同期比3.5%減)となりました。営業利益につきましても、原価低減と生産性の向上に努めましたが、50百万円(前年同期比34.9%減)となりました。

〔駐車場装置関連事業〕

顧客ニーズに合わせた積極的な提案型営業を行い、改造・改修工事は好調に推移しましたが、主力製品である「パズルタワー」の新設需要が減少したことにより、売上高は1,497百万円(前年同期比16.9%減)となりました。営業利益につきましても、継続的な原価低減に努めましたが、53百万円(前年同期比67.6%減)となりました。

〔室内外装品関連事業〕

「スライディングドア66シリーズ」の受注が増加したことにより、売上高は548百万円(前年同期比0.3%増)となりました。営業利益につきましては、生産性の向上や原価低減に努めた結果、41百万円(前年同期比19.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

〔資産〕

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ106百万円減少し10,528百万円となりました。

流動資産は、主に原材料及び貯蔵品が47百万円増加した一方で、現金及び預金が52百万円、ファクタリング債権を含む未収入金等のその他流動資産が99百万円減少したことにより、前事業年度末に比べ95百万円減少し7,177百万円となりました。

固定資産は、主に保有株式の株価上昇により投資有価証券が48百万円増加した一方で、保険積立金等を含むその他投資その他の資産が51百万円、有形固定資産が減価償却等により24百万円減少したことにより、前事業年度末に比べ10百万円減少し3,350百万円となりました。

〔負債〕

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ123百万円減少し1,304百万円となりました。

流動負債は、主に支払手形及び買掛金が63百万円増加した一方で、駐車場工事に係る前受代金や未払金等のその他流動負債が182百万円減少したことにより、前事業年度末に比べ115百万円減少し1,032百万円となりました。

固定負債は、主に役員退職慰労引当金が6百万円増加した一方で、退職給付引当金が11百万円減少したことなどにより、前事業年度末に比べ7百万円減少し271百万円となりました。

[純資産]

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ17百万円増加し9,223百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が14百万円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が31百万円増加したことによるものであります。

なお、自己資本比率は前事業年度末に比べ1.0ポイント増加し87.6%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、輸出が持ち直し、各種経済政策の効果などから、景気回復の動きが確かなることが期待されますが、海外景気の下振れなど、引き続き国内景気を下押しするリスクが存在し、経営環境は予断を許さない状況が続くものと思われまます。

これらの状況を踏まえ、平成25年12月期の業績予想につきましては、現時点では平成25年2月7日に公表しました予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,297,764	4,245,503
受取手形及び売掛金	1,439,755	1,453,010
製品	34,175	24,943
仕掛品	403,389	413,351
未成工事支出金	105,440	99,512
原材料及び貯蔵品	339,440	387,340
その他	659,225	559,450
貸倒引当金	△6,065	△5,683
流動資産合計	7,273,126	7,177,429
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,303,958	2,314,826
減価償却累計額	△1,586,658	△1,621,391
建物（純額）	717,299	693,434
機械及び装置	2,107,814	2,151,478
減価償却累計額	△1,870,751	△1,910,943
機械及び装置（純額）	237,062	240,535
土地	1,557,896	1,557,896
その他	907,939	920,052
減価償却累計額	△817,782	△834,035
その他（純額）	90,157	86,017
有形固定資産合計	2,602,416	2,577,883
無形固定資産	17,703	34,993
投資その他の資産		
投資有価証券	501,447	549,716
その他	244,076	192,568
貸倒引当金	△4,555	△4,555
投資その他の資産合計	740,969	737,730
固定資産合計	3,361,088	3,350,607
資産合計	10,634,214	10,528,036

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	707,330	771,167
未払法人税等	98,335	58,223
引当金	38,592	81,394
その他	304,168	122,077
流動負債合計	1,148,427	1,032,862
固定負債		
退職給付引当金	209,205	197,482
役員退職慰労引当金	47,240	53,780
その他	22,842	20,148
固定負債合計	279,288	271,410
負債合計	1,427,715	1,304,272
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,507,500	2,507,500
資本剰余金	3,896,953	3,896,954
利益剰余金	3,027,511	3,013,300
自己株式	△197,743	△197,739
株主資本合計	9,234,221	9,220,015
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△27,722	3,748
評価・換算差額等合計	△27,722	3,748
純資産合計	9,206,498	9,223,764
負債純資産合計	10,634,214	10,528,036

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	4,492,560	4,115,220
売上原価	3,574,856	3,264,952
売上総利益	917,704	850,268
販売費及び一般管理費	639,369	704,762
営業利益	278,334	145,505
営業外収益		
受取利息	3,889	3,366
受取配当金	6,018	6,170
その他	11,060	13,368
営業外収益合計	20,968	22,905
営業外費用		
売上割引	2,947	3,183
その他	416	1,180
営業外費用合計	3,364	4,364
経常利益	295,938	164,047
特別損失		
固定資産除却損	86	979
特別損失合計	86	979
税引前四半期純利益	295,851	163,067
法人税、住民税及び事業税	153,367	70,159
法人税等調整額	△20,479	5,623
法人税等合計	132,888	75,782
四半期純利益	162,963	87,284

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	減速機 関連事業	駐車場装置 関連事業	室内外装品 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,144,532	1,801,517	546,510	4,492,560	—	4,492,560
セグメント間の内部売上高 又は振替高	47,159	—	—	47,159	△47,159	—
計	2,191,691	1,801,517	546,510	4,539,719	△47,159	4,492,560
セグメント利益	77,509	166,540	34,284	278,334	—	278,334

(注)1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	減速機 関連事業	駐車場装置 関連事業	室内外装品 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,069,178	1,497,805	548,236	4,115,220	—	4,115,220
セグメント間の内部売上高 又は振替高	28,497	—	—	28,497	△28,497	—
計	2,097,676	1,497,805	548,236	4,143,718	△28,497	4,115,220
セグメント利益	50,473	53,923	41,108	145,505	—	145,505

(注)1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

この変更によるセグメント利益に与える影響は軽微であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。